令和４年度日本ＮＧＯ連携無償資金協力申請書（第１年次・第２年次・第３年次・単年度）

|  |  |
| --- | --- |
| １　基本情報　記入上の注意：次の（１）～（８）について、１枚以内で記載してください。 | |
| （１）団体名 | （日本語表記）履歴事項全部証明書に記載されている団体名を記載してください。  【法人番号：　　　　】 |
| （英語表記） |
| （２）案件名 | できる限り件名から事業内容が連想できる案件名としてください（「●●県学校建設事業」等）。ただし、事業内容が多岐にわたる場合（学校建設に加え人材育成などソフト事業を含む場合）等は、事業の上位目標を案件名とすることも可能です（「●●県初等教育普及事業」等）。国名を入れる必要はありません。州・県名等の地域名も最小限にとどめてください。案件名は長くならないよう４０文字以下を目安に簡潔にしてください。 |
| （英語表記）150文字以内で記入してください。 |
| （３）分野 | 「環境」、「通信・運輸」、「医療・保健」、「教育・人づくり」、「水」、「エネルギー」、「地雷・不発弾」、「農林業」、「平和構築」、「防災」又は「その他」の中から当てはまるものを一つだけ選んで記入してください。 |
| （４）国際協力重点課題 | 国際協力における重点課題案件の優遇措置適用を希望する場合は、１８ページを参照して該当する重点課題を記入してください。 |
| （５）Ｎ連対象事業 | 「開発協力事業」、「ＮＧＯパートナーシップ事業」、「リサイクル物資輸送事業」、「災害等復旧・復興支援事業」、「地雷・不発弾関係事業」、「マイクロクレジット原資事業」、「平和構築事業」の中から一つ選んで記入してください。 |
| （６）事業地 | 国名から記載してください。ある県内の多くの村で事業を展開する場合等は、事業の上位目標に照らし、適切な地域単位（行政区分）を事業地として記載してください（例えば、ある県内の数十の村を巡回診療に訪れる場合等は、事業地名は当該県名までとし、実際に訪問する個別の村名は２（３）の事業の内容に記載する等）。また、最寄りの主要都市からの距離、アクセス方法、おおよその所要時間も記載してください。事業地名は英語でも記入してください。 |
| （７）事業費 | 総事業費：　　　円（Ｎ連申請額：　　　円）Ｎ連により供与される額は審査の結果、変更となることがあります。様式１－aを別添してください。  （複数年事業の場合）  第１年次－事業費：　円（Ｎ連申請額：　円）  第２年次－事業費：　円（Ｎ連申請額：　円）  第３年次－事業費：　円（Ｎ連申請額：　円） |
| （８）事業期間 | （全体）２０●●年●●月～２０●●年●●月（例：３６か月間）  （今次）２０●●年●●月～２０●●年●●月（例：１２か月間）  事業実施に必要な期間と、申請時の想定される事業開始年月及び事業完了年月を記載してください。複数年事業での申請の場合は、事業全体の期間を記載してください。 |

（グレーの字で書かれている申請書記載時の留意点は削除してお使いください。）

（ページ番号標記の上、ここでページを区切ってください。）

|  |  |
| --- | --- |
| ２　事業の目的と概要  記入上の注意：次の（１）～（７）については、全体で原則５枚以内をめどに記載してください。ただし、審査の過程で追記を求めることがあります。事業内容の妥当性を判断する材料となります。現地の事情を詳しく知らない人が読んだ場合でも活動内容や事業の必要性について具体的なイメージを持てるよう簡潔かつ分かりやすい記述を心がけてください。  「（２）事業の必要性（背景）」に記されているような現状が、「（５）活動内容」を行うこと、及び「（７）持続発展性」に記載される今後の事業の維持管理体制を採ることで「（６）期待される効果と成果を測る指標」に記載されるような効果により改善され、事業終了時には「（４）プロジェクト目標（今期事業達成目標）」が達成される、という関係にあることを分かりやすく示してください。 | |
| （１）事業概要 | （和文）事業概要について和文（400字程度）で記入してください。 |
| （英文）事業概要について英文（半角最大300文字）で記入してください。 |
| （２）事業の必要性と背景 | 申請事業を行う背景を記載してください。その際には、（ア）事業実施国における一般的な開発ニーズに沿った事業であることを簡潔に記載してください。また、その上で（イ）なぜ申請事業の内容（事業地、事業内容）となったのかを、現状の数値を示しながら簡潔に記載してください。さらに、第２年次、第３年次の申請の場合には、これまでの事業の成果・課題を簡潔に説明の上、これを踏まえた事業であることを記載するとともに、前事業からの成果、課題・問題点、及びそれらに対する対応策についても記載してください。 |
| ●「持続可能な開発目標(SDGs)」との関連性  「持続可能な開発目標(SDGs)」の目標（ゴール）１～１７の中のどの目標に該当するかを記入してください（最大５つの目標を記載可。SDGsの目標は以下のURLから参照してください。）。  （※①）参考ホームページ： http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/files/000101401.pdf  （和文仮訳）<http://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000101402.pdf> |
| 次のＯＥＣＤwebサイトを参照の上、申請案件が次の各政策目標に該当する場合は２：主要目標、又は１：重要目標、該当しない場合は０：目標外、又は９：不明／未定を選択してください。   |  |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | --- | | ジェンダー平等 | 環境援助 | 参加型開発／  良い統治 | 貿易開発 | 母子保健 | 防災 | | アイテムを選択してください。 | アイテムを選択してください。 | アイテムを選択してください。 | アイテムを選択してください。 | アイテムを選択してください。 | アイテムを選択してください。 | | 栄養 | 障害者 | 生物多様性 | 気候変動（緩和） | 気候変動（適応） | 砂漠化 | | アイテムを選択してください。 | アイテムを選択してください。 | アイテムを選択してください。 | アイテムを選択してください。 | アイテムを選択してください。 | アイテムを選択してください。 |   参照１：<https://one.oecd.org/document/DCD/DAC/STAT(2018)9/ADD2/FINAL/en/pdf>　（４３ページ～）  参照２（防災、栄養、障害者は以下を参照。）  <https://one.oecd.org/document/DCD/DAC/STAT(2018)52/en/pdf>　（６ページ～） |
| ●外務省の国別開発協力方針との関連性  外務省の国別開発協力方針（※②）に沿った事業であることを記載してください。  （※②）参考ホームページ：  <http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/seisaku/kuni_enjyo.html> |
| ●「ＴＩＣＡＤⅥおよびＴＩＣＡＤ７における我が国取組」との関連性  アフリカにおける事業である場合には、「ＴＩＣＡＤⅥにおける我が国取組」や「ＴＩＣＡＤ７における日本の取組」に合致しているか、合致している場合には当該我が国取組のどの部分に該当するか説明してください（※③）。  （※③）参考ホームページ：  <https://www.mofa.go.jp/files/000183834.pdf>  <https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/ticad/ticad7/pdf/ticad7_torikumi_ja.pdf> |
| （３）上位目標 | 事業を通じて長期的に実現したい目標を記載してください（母子保健改善事業であれば、●●県における、妊産婦・新生児の健康状態が改善される等）。 |
| （４）プロジェクト目標  （今期事業達成目標） | 事業期間中（３年間の複数年事業の場合は３年間）に達成すべき目標、すなわち受益者や対象社会に対する直接的な効果を記載ください（母子保健改善事業であれば、●●県において妊産婦と新生児に対する母子保健サービスが改善される等）。（注）事業開始後に事業の目標が変わる事業変更申請は原則として承認できません。 |
| 複数年事業の場合は、点線以下に今期事業（今年度）で達成する目標を簡潔にまとめて記載ください（できる限り１行程度）。 |
| （５）活動内容 | プロジェクト目標を達成するために行う具体的な活動内容を記載してください。複数ある場合は、1-1・・・、1-2・・・、2-1・・・、2-2・・・とそれぞれの活動内容（事業の対象者、おおよその世帯数・人数を含む。）を簡潔に記載してください。また、その際、様式１－aの予算詳細（経費見積り）の直接事業費に計上されている経費がどのように使われるのか具体的にイメージが浮かぶよう留意してください（事業内容と関連性が認められない経費は支援対象となりません。）。今後、複数年で継続する事業については、年度ごとの事業内容を記載してください。  ※施設建設を伴う事業においては、現場工事を適切に管理・監督する具体的な対策・方法を必ず記載してください（例：工事に問題・瑕疵がないか確認し、必要に応じ具体的な技術的指導を行う等）。  第２年次、第３年次の申請の場合は、当初の事業計画から、諸事情により事業内容を変更する必要がある場合には、理由を付して○○から○○に変更となったことが分かるように説明してください。 |
| ひ益人口（※この欄に直接ひ益人口と間接ひ益人口を記してください。） |
| （５（６）期待される成果と成果を測る指標 | （４）に掲げるプロジェクト目標（及び複数年事業の場合は今期で達成する目標）が達成できたか否かを確認するにはどのような成果が上がればよいか、定量的に測定できるものを含む複数の指標とともに記載してください。その際、事業の性質に応じた指標を外務省と協議の上設定し、公表することとし、具体的な指標については個々の申請内容を踏まえ調整し、決定してください。例えば、母子保健改善事業では「助産施設一棟を建設する」と記載するだけではなく（施設建設だけでは活動内容に当たります）、その結果「地域の妊産婦が助産施設で出産できるようになる」等、何のために事業を行うのかを意識しながら成果としてひ益する人数（この場合、助産施設から報告をさせた妊産婦や新生児の数）とともに具体的に記述してください。  なお、（５）に掲げる各活動内容から得られる成果（アウトプット）をここに記載する必要はありません。  外務省ODAホームページ下記リンクには、過去のＮ連申請書及び完了報告書も記載されていますので、参考としてください。（https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/shimin/oda\_ngo/shien/jngo\_j.html) |
| （７）持続発展性 | 事業の効果が一時的なものにとどまらないかを判断するための材料とします。Ｎ連事業の終了後に、事業の効果を維持していくための計画を記載してください。（建設した建物の維持・管理方法や、教育支援事業がどのようにひ益団体（者）、現地提携団体等に引き継がれていくか等）。なお、災害等復旧・復興支援事業の場合には、持続発展性に関する記載は不可欠ではありませんが、その場合であっても施設の建設・普及や耐久消費財を供与した場合には、施設・資機材の維持管理を図る観点から、その持続性の確保について記載してください。  単年度事業の場合又は複数年事業の最終年に当たる場合は、事業終了の３～４年後を目途に在外公館が事後状況調査を行うに際して、本事業の持続発展性を確認する上で適当と思われる訪問先、注目すべき事項を記載してください。 |

（ページ番号標記の上、ここでページを区切ってください。）

|  |  |
| --- | --- |
| ３　事業管理体制  記入上の注意：次の４と併せ、２枚以内で記載してください。それを超える詳細な説明が必要な場合は別紙を追加してください。団体本部及び現地事務所において、事業が適切に実施・管理される体制が整っているのかを判断するための材料となります。事業の目的や内容が優れていても、事業自体や資金の管理に不安な点がある場合には是正をお願いすることや、事業全体として承認できないことがあります。 | |
| （１）人的体制 | 事業を適切に実施するために必要な人的体制が敷かれているかを判断します。事業本体の実施管理体制のみならず本部、現地の業務管理や資金管理の責任の所在について簡潔に記載してください。また、プロジェクトタイムテーブル・人員配置表（様式１－d）の「人員配置」にて各責任者を示してください。 |
| （２）連絡先 | ●日本国内の連絡先  （ア）団体名：  （イ）住所：  （ウ）電話：  （エ）ＦＡＸ：  （オ）E-mail：  （カ）事業担当者名：本部で申請事業を担当する方の名前を記載してください。 |
| ●現地連絡先  日本国内の連絡先に倣い、現地での連絡先を記載してください。 |
| （３）安全対策 | （ア）職員の安全をどのように確保するのか簡潔に記載してください。特に危険地域（危険情報で「退避してください」又は「渡航は止めてください」が出されている地域）で事業を実施する際には、いわゆる「安全５原則」の遵守を求めることを事業承認の条件とする場合や、別途詳細な安全対策（別紙）を提出いただく場合があります。  （イ）団体本部の安全対策責任者兼緊急連絡先を２名指名し、両名の①氏名・肩書、②本部事務所電話番号及び連絡先携帯電話番号、③メールアドレスをこの欄に記載してください（Ｎ連事業期間中は常時連絡を取れる方を指名してください。）。 |
| （４）現地提携団体 | 現地提携団体が事業実施能力等に関して信頼に足る団体であると認められるかどうかを判断します。現地で他団体と提携して事業を実施する場合は、当該団体の信頼性を示す団体の概要や活動実績について記載してください。加えて、現地政府機関・自治体等との連携の有無や連携する場合に該当する政府機関名等を記載してください。 |
| （５）総事業費超過の際の財源 | Ｎ連資金のみで事業を実施するか否かを問わず、総事業費が当初予算を超えた場合の資金源をどのように手当てするかについて記載してください。 |

|  |  |
| --- | --- |
| ４．その他 | |
| 1. 事業実績 | 1. 現在、当該国で実施している事業があれば、終了予定時期を明示の上その資金源とともに記載してください。 2. 事業地と同一の国において過去に実施した事業がある場合は、その資金源とともに記載してください。 3. 現在、申請団体が実施している事業を、終了予定時期を明示の上、その資金源とともに全て記載してください。 |
| （２）事業国における事業実施条件 | 事業国での事業実施やＮ連専用口座開設のためのＮＧＯ登録の要否、現地政府機関とのＭＯＵの締結の要否等について記入してください。これらは案件選定会議までに確認と手続を終えてください。 |
| （３）特記事項 | 事業の形成・実施に際し、ジェンダー、環境等への配慮について特記すべき事項があれば記載してください。 |

申請書記載日：●●年●●月●●日

団体代表者　肩書　氏名